

愛難連

URL <http://www.ainanren.org/>

第 127 号

発行人

NPO法人愛知県難病団体連合会

〒453-0041

名古屋市中村区本陣通 5-6-1

地域資源長屋なかむら 101

TEL 052-485-6655

FAX 052-485-6656

E-Mail:ainanren@true.ocn.ne.jp

●愛知県と名古屋市に要望書提出しました

●名古屋市希少疾患講演会のおしらせ

難病と早く向き合うために

～総合診療医が患者さんやご家族に伝えたいこと～

愛知県、名古屋市に令和7年度要望を提出しました……………	P 2～P 3
愛難連大会の報告	
知ると知らぬとでは大違い！～転倒予防のコツ伝授～……………	P 4～P 7
YouTube「あいなんれんチャンネル」に大会録画をアップしてあります	
名古屋市希少疾患講演会のおしらせ	
難病と早く向き合うために	
～総合診療医が患者さんやご家族に伝えたいこと～ ……	P 8
薬物治療とカルシウム入り健康食品の影響（寄稿）……………	P 9～P 11
株式会社 スギ薬局 在宅調剤センター下地店	
本場・長崎の「ちゃんぽん」「うどん」「らーめん」を美味しく食べて	
……………	P 12～P 15
広告	
スギ薬局 GAROHOME 鶴舞 ナゴヤロボケアセンター久屋店	
パリアティブケアホーム ホームケアアライアンス……………	P 16～P 19

愛知県、名古屋市に令和7年度要望を提出しました

11月18日（火）に、愛知県、名古屋市に要望書を提出しました。

愛知県、名古屋市との話し合いは令和8年2月10日午後に予定しています。

説明を含めた要望書全文は愛難連HPに掲載しています

【愛知県への要望事項】

- 要望1 現行の福祉医療制度を継続してください
- 要望2 難病患者・家族に実情に即した実効性のある個別避難計画策定を進めてください。
個別避難計画策定の市町村の進捗状況をどのように把握しておられるか、どう進められようとしているのかご説明ください。
併せて県内市町村の発電機・蓄電池及びバッテリーの購入補助拡大に協力ください。
- 地域単位での「電源サポート拠点」づくりの支援をお願いいたします。
- 要望3 保健所体制を強化し、保健師を増員し、在宅患者への訪問事業を充実してください。
- 要望4 難病患者の就労支援を強めてください。
難病患者就職サポーター複数配置・正規職員配置を国に働き掛けてください。
- 要望5 難病患者・家族の難病法に基づく医療費助成申請事務負担を軽減してください。
- 要望6 レスパイト入院事業を充実させてください。
- 要望7 難病患者の通院における移動支援事業の利用を認める市町村の拡大に協力ください
- 要望8 県立学校への看護師配置・看護師同士の情報共有の機会の拡大・働きやすい環境の整備を進めてください。
- 要望9 小児慢性疾患の「移行期医療支援センター」設置、「専任の移行期医療コーディネーター」配置をお願いします。
- 要望10 愛知県難病ポータルサイトを「難病医療情報」にアクセスできるよう充実してください。
- 要望11 告知を受けた難病患者が受けられる障害福祉サービスなどの相談ができる環境を整えてください。
- 要望12 病院、介護事業所の経営支援、ヘルパー確保にむけ、国への働きかけなど一層の努力をお願いします。
- 要望13 障害者手帳取得から調査、区分支給認定、障害訪問介護までの期間が2~3ヶ月と長いため、介護保険と同じく申請をした段階から暫定で使用できるようにしてください。
- 要望14 在宅療養している患者にとって入浴は必要です。各自治体で重度障害者移動（訪問）入浴サービスが提供されていますが、利用にあたって「子どもの利用」を制限する例もみられます。
- 要望15 「透析施設」「在宅訪問診療」に係る燃料費（ガソリン代）の助成をお願いします。
- 要望16 地下鉄名古屋城駅から県庁本庁舎、西庁舎、自治センターへの地下通路に視覚に障害のある人の安全な歩行を助けるための点字ブロックを設置してください。
- 要望17 心疾患、腎疾患が通園または通学する学校等へ提出する学校生活管理指導表の

記載を医療機関に依頼した場合、その文書料を助成してください。

また、公的医療保険の対象となるよう国に働きかけてください。

要望 18 ピアサポーター養成講座、大会、RDDなどのご後援・ご協力を引き続きお願いします。これまでのご協力ありがとうございます。引き続きお願いいたします。

【名古屋市への要望事項】

要望 1 難病患者・家族に実情に即した実効性のある個別避難計画策定を進めてください。

個別避難計画策定の名古屋市の進捗状況を説明ください。

在宅人工呼吸器使用者非常用電源補助事業の利用状況を教えてください。

令和7年3月7日の市議会本会議にて大島ひでひろ議員の質問への健康福祉局長の答弁その後の状況を教えてください。

地域単位での「電源サポート拠点」づくりの支援をお願いいたします。

要望 2 保健センターの体制を強化し、保健師を増員し、在宅患者への訪問事業を充実してください。

要望 3 難病患者・家族の難病法に基づく医療費助成申請事務負担を軽減してください

要望 4 難病医療費助成などの更新に必要な診断書費用の補助をお願いします。

要望 5 レスパイト入院事業を充実させてください。

要望 6 学校への看護師配置・看護師同士の情報共有の機会の拡大・働きやすい環境の整備を進めてください。

要望 7 小児慢性疾患の「移行期医療支援センター」設置、「専任の移行期医療コーディネーター」配置をお願いします

要望 8 医療的ケア児および18歳以上の難病患者の医療が切れ目なく提供できる体制整備してください。

要望 9 告知を受けた難病患者が受けられる福祉サービスなどの相談ができる環境を整えてください

要望 10 病院、介護事業所の経営支援、ヘルパー確保にむけ、国への働きかけなど一層の努力をお願いします

要望 11 障害者手帳取得から調査、区分支給認定、障害訪問介護までの期間が2~3ヶ月と長い場合、介護保険と同じく申請をした段階から暫定で使用できるようにしてください。

要望 12 重度障害者移動（訪問）入浴サービス利用の年齢制限記載をなくしてください。

前年要望時からの検討状況を教えてください。

要望 13 難病患者の就労支援を強めてください。

難病患者就職サポーター複数配置・正規職員配置を国に働きかけてください

要望 14 「透析施設」「在宅訪問診療」に係る燃料費（ガソリン代）の助成をお願いします。

要望 15 心疾患、腎疾患が通園または通学する学校等へ提出する学校生活管理指導表の記載を医療機関に依頼した場合、その文書料を助成してください。

また、公的医療保険の対象となるよう国に働きかけてください。

要望 16 ピアサポーター養成講座、大会、RDDなどのご後援・ご協力を引き続きお願いします。

愛難連第 52 回大会の報告

愛知県難病団体連合会第 52 回大会「知ると知らぬでは大違い！ 転倒予防のコツ伝授」を以下のように開催しました。

日 時 令和 7 年 11 月 3 日（月・文化の日） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

会 場 東別院会館ホール 〒460-0016 愛知県名古屋市中区橘 2

テーマ 知ると知らぬでは大違い！ 転倒予防のコツ伝授

講 演 1 転倒予防がなぜ大切か？ ～転ばないための知識と実践～

講師 饗場 郁子 先生

国立病院機構東名古屋病院院長

脳神経内科

2 転ばない毎日のために ～安心して動ける体づくり～

講師 大原 悠子 先生 東名古屋病院 理学療法士

成瀬 智将 先生 東名古屋病院 作業療法士

3 食事から始める “転ばない生活” のすすめ

講師 小野田慎平 先生 東名古屋病院 管理栄養士

参加対象 難病患者・家族、支援者、議員、一般の方

後 援 愛知県、名古屋市、愛知県医師会、愛知県共同募金会、中日新聞社、
中日新聞社会事業団、東海テレビ福祉文化事業団、中部善意銀行、
愛知難病救済アマチン基金、愛知県医療ソーシャルワーカー協会、
愛知県理学療法士会、愛知県作業療法士会、愛知県言語聴覚士会

参加費 無料

当日の参加者数は来賓（17 名）含めて 75 人でした。

饗場先生のご講演は

「転倒予防がなぜ大切か？」「人はなぜ転ぶのか？～転倒の要因」「要介護者の転倒・骨折の実態は？」「転倒事例から学ぶ転倒・骨折予防のコツ」についてのご講演でした。

その中で「転倒骨折は介護が必要になる原因の第 3 位」「人は転ぶもの」「排泄は、転倒の行動要因で最も多い」などとされ、→「おトイレは 早めにいこう 慌てずに」「歩く時 何ももたずに 歩きましょう」「日用品 手元におけば ひと安心」など転倒予防川柳も紹介いただきました。

大原・成瀬先生のご講演は

転倒予防運動の重要を「筋力トレーニング」「バランス練習」「ストレッチ」とされ、トレーニング実技も交えた、わかりやすいご講演でした。

小野田先生のご講演は

栄養不良は転倒」リスクを上昇させる「予防のカギは『筋肉』と『骨』と「エネルギー」と説明いただきました。

YouTube「あいなんれんチャンネル」に大会録画をアップしてあります

愛難連第 52 回大会に

御出席、欠席連絡・メッセージなどいただいた来賓のご紹介

愛知県医師会 会長 柵木充明 様 (代読) 愛知県医師会理事 高橋 昌久 先生
愛知県保健医療局健康医務部健康対策課 担当課長 河合 美枝 様
名古屋市健康福祉局健康部担当課長 (公衆衛生看護) 長沼 裕子 様

ご出席・欠席連絡・メッセージ等いただいた議員名を紹介します。(順不同)

参議院議員

酒井 庸行
水野 孝一
杉本 純子
藤川 政人
斎藤 嘉隆
伊藤 孝恵
里見 隆治
伊藤 辰夫
浜口 誠

前参議院議員

大塚 耕平

衆議院議員

近藤 昭一
古川 元久
福田 徹
松田 功
今枝宗一郎
若山 慎司
工藤 彰三
丹羽 秀樹
西川 厚志
長坂 康正
岡本 充功
牧 義夫
藤原 規真
丹野みどり
根本 幸典
重徳 和彦
本村 伸子
杉本 和巳
大嶽 理恵
小山 千帆
上村 英明
竹上 裕子
河村 たかし

愛知県議会議員

島 孝則
杉浦 正和
ますだ裕二
田中 泰彦
浦野 隼次
木藤 俊郎
藤原 聖
平松 利英
杉浦 正和
坂田 憲治
新海 正春
政木 りか
天野 正基
鈴木まさと
下奥 奈歩
阿部 武史

名古屋市議会議員

神 ひろし
さかい大輔
おくむら文悟
北野よしはる
うかい 春美
田口 一登
田山 宏之

(愛知県選出の国会議員、愛知県議会福祉医療委員会委員、名古屋市財政福祉委員会委員など 64 議員に案内状をお送りしました)

愛知県難病団体連合会第 52 回大会 理事長挨拶

令和 7 年 11 月 3 日 理事長 下前 君夫

本日は、愛知県難病団体連合会第 52 回大会にご参加いただきありがとうございます。

ご来賓の皆様、各方面よりご多忙にもかかわらず駆けつけて頂きありがとうございます。平素より愛難連の活動にご理解・協力頂いていることに深く感謝申し上げます。今後もよろしくご指導いただきますようお願い申し上げます。

理事、加盟団体代表者、並びに会員の皆様には日頃から当会の活動にご参加・ご協力いただき、この場をかりて深く感謝申し上げます。

高額療養費制度見直しが大きな話題となり、私たちにとり大変危惧される事態となりました。がん患者会・JPA・全腎協が協力してネット署名を行い陳情書を提出し、何とか阻止することができました。今後も注視していく必要があると思います、JPA（日本難病・疾病団体協議会）が「高額療養費制度と社会保障を考える議員連盟」の準備会などに当事者として参加しております。

JPA としては、難病に関する医療、雇用、小児慢性疾患などについてなどを政策提言しています。

愛知県難病団体連合会としては、愛知県と名古屋市様に「難病患者家族の実情に即した実効性のある個別避難計画策定」「レスパイト入院」「手帳取得から福祉サービス利用までの期間短縮」「難病患者雇用の促進」などについての要望書を提出させていただき話し合いの場をいただいています。

また、ピアサポーター養成講座や、難病啓発事業としての RDD 開催や、一宮地域における「難病患者交流会」実施、名古屋市様から委託いただいております「希少疾患講演会」などにも努力してきています。

本日は、「知ると知らぬとでは大違い！～転倒予防のコツ伝授～」を大会テーマとして、国立病院機構東名古屋病院医院長の饗場郁子先生に「転倒予防がなぜ必要か？～転ばない為の知識と実践」をテーマに講演いただきます。

同じく東名古屋病院の理学療法士の大原先生・作業療法士の成瀬先生から「転ばない毎日のために～安心して動ける体づくり」、管理栄養士の小野田先生から「食事から始める”転ばない生活”のすすめ」の講演をいただきます。難病患者だけでなく多くの方に大変有益なテーマと思いますので参考にして実践して頂ければ幸いです。

今後も皆様の協力を得ながら活動していきたいと考えています。

各団体と連携を取りながら、情報の共有を図り提案出来る所は提案し、お願いする所は、お願いし私たちの現状が後退なきよう頑張りましょう。

最後に、今後も色々と問題は発生すると思いますが、加盟団体が知恵を出し力を合わせれば打開できると確信しておりますので変わらぬ支援と協力をお願いします。

本日参加の皆様のご健康を祈念し愛難連の代表としての挨拶といたします。

【来賓のご挨拶】

愛知県難病団体連合会第52回大会 挨拶

令和7年11月3日

公益社団法人愛知県医師会

会長 柵木 充 明

代読 公益社団法人愛知県医師会

理事 高 橋 昌 久

ただいまご紹介いただきました、愛知県医師会の高橋でございます。本来でございますと、柵木会長が出席をいたしまして、皆様方にご挨拶申し上げるところであります。公務のため私が柵木会長の挨拶を代読させていただきます。

本日は、「令和7年度 愛知県難病団体連合会第52回大会」が、多くの皆様のご参加のもとに開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

また、長年にわたり、難病患者を対象とした患者会活動にご尽力いただいております愛知県難病団体連合会の皆様、ならびに関係各位に対し、深く敬意を表します。

さて、本大会のテーマは「知ると知らぬとでは大違い！～転倒予防のコツ伝授～」でございます。難病の中でも、特に神経・筋疾患や骨・関節疾患をお持ちの方々にとって、転倒は自立した生活を脅かす大きな要因となります。転倒による影響は身体的なものにとどまらず、心理的な不安や行動の制限をもたらす、その結果、筋力やバランス感覚の低下といった悪循環を引き起こします。

この悪循環を断ち切るためには、転倒を「防ぐ」ことに加え、正しい知識と日常生活の工夫によってリスクを減らすことが何より重要であります。

そこで本日は、国立病院機構東名古屋病院 院長の饗場郁子先生をはじめ、理学療法士・作業療法士・管理栄養士より、それぞれの専門的立場から、転倒予防の実践や生活上の工夫についてお話しくださると伺っております。今回、「転倒」という事象について、医療・リハビリ・栄養といった多角的な視点からのご講演は、皆様にとって非常に有意義な時間となることと思っております。

愛知県医師会におきましても、難病を抱える患者や家族を支援する機関として、「難病相談室」を開設し、皆様の悩みや不安の軽減を図ることができるよう、専門的な知見を活かした支援を行っています。今後も、行政や医療機関、関係団体との連携を強化し、難病相談事業のより一層の充実に努めて参ります。

最後に、難病患者・家族の皆様方のご健勝と愛知県難病団体連合会の今後益々のご発展を祈念し、私のご挨拶といたします。

難病と早く向き合うために

～総合診療医が患者さんやご家族に伝えたいこと～

総合診療医は「診断の専門家」として、診断がつかずに困っている患者さんを診ることがあり、中には難病等の希少疾患の患者さんもいらっしゃいます。

今回の講演では、総合診療医としての経験から、「病気や症状とどう付き合うか」「必要な医療へどうつながるか」等に関する内容です。

日時 令和7年12月21日（日） 13:30～15:00

会場 中村区役所 5階講堂（裏面参照）

講師 高橋 徳幸（たかはし のりゆき）先生

名古屋大学大学院医学系研究科 地域医療教育学寄附講座 特任講師

テーマ **難病と早く向き合うために**
～総合診療医が患者さんやご家族に伝えたいこと～

参加対象 難病患者・家族、難病患者の支援者 など

参加費 **無料**

募集定員 **定員50名** Zoom参加 **定員50名**（先着順、予約制）

予約開始日 11月11日（火）10:00から受け付けます

高橋先生へのご質問タイムもあります。

（事前にご質問内容がいただければ先生にお伝えします）

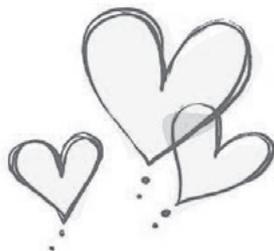


名古屋市が愛知県難病団体連合会に委託して実施します

申込・問い合わせ先：NPO法人愛知県難病団体連合会（牛田・重松）

〒453-0041 名古屋市中村区本陣通5-6-1 地域資源長屋なかむら101

Mail: ainanren@true.ocn.ne.jp TEL: 052-485-6655 FAX: 052-485-6656



主催：名古屋市健康福祉局 健康増進課

TEL 052-972-2627 FAX 052-972-4152

※感染症対策へのご協力をお願いします。

・当日、体調不良の方は来場をお控えください。

薬物治療とカルシウム入り健康食品の影響

株式会社 スギ薬局 在宅調剤センター下地店

薬剤師 濱田 リカ

はじめに

患者様の治療において、薬剤師は薬剤の管理だけでなく、日々の食事の影響を確認することも重要な役割です。昨今では特定の成分が強化された健康食品が多く発売されており、中には薬物治療に影響を与える食品も少なくありません。在宅訪問では実際に召し上がっているものを確認する機会も多く、現在の薬物治療に影響を与えかねない食品に気づくことがあります。今回は、カルシウム補充のための薬剤を内服している方が、健康のためカルシウム入り健康食品を摂取していたことから、摂取過剰になっている可能性に気づいた例についてお話しします。

事例紹介：骨密度改善のため注射剤とカルシウム剤を処方された患者様

今回の事例の方は関節リウマチを患っており、また高齢のため圧迫骨折の既往もある方でした。治療のために骨が壊れるのを抑えて骨密度を上昇させる注射剤であるプラリア皮下注を使用していました。その注射剤を使用していると骨からカルシウムが溶け出すのを抑え、血液中のカルシウムが足りなくなることがあるため、デノタスチュアブル配合錠というカルシウムを補充するお薬を併用することとなっています。

この方も例にもれず、デノタスチュアブル配合錠が処方されていましたが、通常2錠を毎日使用するところ、過去にカルシウムが高くなりすぎたため、医師の指示で1錠を1日おきに内服するという少ない量で使用していました。ある訪問時に、最近健康を意識して宅配弁当と一緒に頼める「ミルクで元気 PREMIUM」を週4日ほどの頻度で飲み始めたと確認しました。

ミルクで元気 PREMIUM



出典：株式会社明治 HP

デノタスチュアブル配合錠



出典：第一三共ヘルスケア株式会社 HP

	推奨量（目安量）	耐用上限量	ミルクで元気 PREMIUM（1本）	デノタスチュアブル配合錠（1錠）
カルシウム（mg）	600	2500	700	305
ビタミンD（ μ g）	9	100	10~20	5

参考：日本人の食事摂取基準 2025 年度版（厚生労働省）をもとに作成

高カルシウム血症のリスクと注意

表で示しているように、今回の健康食品は1本でデノタスチュアブル配合錠約2錠分のカルシウムとビタミンDが含まれている食品です。過去に高カルシウム血症でデノタスチュアブル配合錠を減量している経緯から、再び高カルシウム血症になる恐れがあると考えられました。ご本人は今回の健康食品を継続したい意向があるようでしたので、高カルシウム血症の初期症状である食欲不振、倦怠感、吐き気、嘔吐などの症状が発現したら飲用を中止して病院か薬局に連絡することをお伝えし、主治医には経緯の報告と採血によるカルシウム値の確認を依頼しました。

その後の採血の結果では、補正カルシウム値 10.3 mg/dL(正常値：8.8～10.4mg/dL)と正常範囲であるものの、過去の数値より上昇がみられていました。再度、高カルシウム血症のリスクと投薬のみで十分であることを説明し、「ミルクで元気 PREMIUM」を中止することになりました。

薬剤師の役割：薬剤以外の飲食物への注意

このように、薬剤師は患者様に処方されたお薬だけではなく、その方の食生活やサプリメントなどにも注意を払っています。今回は特に健康食品であり、特定の成分の強化がされている飲料でしたが、通常の食品の中にも薬と飲み合わせが良くないものは多くあります。在宅医療では実際の生活の場を見ることで、普段の外来でお薬をお渡しするときの会話以上の情報を得ることができ、より患者様一人ひとりに合わせた注意点の確認や問題解決に向けてのお手伝いができます。

まとめ

薬剤師は、単に薬物を管理するだけでなく、食事内容や内服方法など、患者様の薬物治療が安全で、効果的に実施されるように薬剤師はいろいろなことを確認させていただいております。時には医師や看護師などにも情報を共有し、お互いの専門領域から提案を行うことで、患者様の状態改善をサポートし、より良い成果を得ることができるよう支援致します。薬剤師の職能を最大限に活かし、患者様一人ひとりに合った薬物治療に貢献していけるようにしていきたいと考えております。

【スギ薬局の在宅訪問薬剤師所属店舗一覧】

無菌 調剤	店舗名	郵便 番号	住所	T E L 番号
○	在宅調剤センター 下地店	440- 0083	愛知県豊橋市下地町操穴 39 番地 3	0532-21-9235
○	在宅調剤センター 安城店	446- 0021	愛知県安城市法連町 7 番地 10	0566-45-7525
—	在宅調剤センター 西三河店	446- 0026	愛知県安城市安城町東広畔 9 番地 1	0566-70-9272
—	在宅調剤センター 中川店	454- 0972	愛知県名古屋市中川区新家三丁目 1410 番地 第一村上ビル 1 階	052-526-7365
○	在宅調剤センター 名古屋緑店	458- 0910	愛知県名古屋市長区桶狭間森前 2903 番地	052-618-6512
○	在宅調剤センター 名古屋金山店	460- 0024	愛知県名古屋市中区正木四丁目 5 番 9 号 ナーシングホーム OASIS 金山 1 階	052-265-9712
—	在宅調剤センター 車道店	461- 0004	愛知県名古屋市東区葵二丁目 14 番 11 号	052-325-3871
○	在宅調剤センター 名古屋北店	462- 0033	愛知県名古屋市北区金田町三丁目 14 番地 1	052-325-7856
○	今池南店	464- 0851	愛知県名古屋市千種区今池南 1 番 13 号	052-715-6036
○	在宅調剤センター 原店	468- 0015	愛知県名古屋市天白区原五丁目 3006 番地 パルナス原 1 階	052-842-9350
○	在宅調剤センター 千種店	446- 0081	愛知県名古屋市千種区谷口町 5 番 3 1 号	052-799-7180
—	在宅調剤センター 宮町店	471- 0043	愛知県豊田市宮町五丁目 53 番地	0565-47-0705
○	在宅調剤センター 半田店	475- 0911	愛知県半田市星崎町三丁目 37 番 地の 1 星崎ビル 1 階	0569-84-2381
—	在宅調剤センター 一宮店	491- 0869	愛知県一宮市向山町二丁目 8 番地 2 東海向山ハイツ 1 階	0586-64-6241
○	在宅調剤センター 長久手荒田店	480- 1161	愛知県長久手市荒田 102 番地	0561-42-8017

本場・長崎の「御彩（いろどり）ちゃんぽん」
「ちゃんぽん・皿うどん」「うどん」「らーめん」を

美味しく食べて

患者会・愛難連の自主財源づくりにご協力ください
お歳暮としてもご活用ください

いつもご協力ありがとうございます。

愛難連の事業は補助金・助成金などによってその多くが賄われています。自主財源づくりの取り組みを強めることが必要です。売上利益は、各患者会の自主財源ともなります。

本場・長崎の味です。「御彩（いろどり）ちゃんぽん」「ちゃんぽん皿うどん」「島手らーめん」「島原のれん」「麺のしらべ」は全国のデパートで冬の売れ筋商品として販売され、お歳暮にぴったりの商品です。ぜひご活用ください。

販売単価はお値打ち価格になっています。（送料は別にかかります）

申込受付期間は12月6日（土）までとさせていただきます。

愛難連に、商品注文書で、注文（FAX・メール）し、
郵便振替にて、愛難連までご送金ください。

愛難連は

注文書（FAX・メール）と振込での入金を確認した上で、業者に発注します。

商品は 直接個人宅に届きます。

愛難連連絡先 TEL 052-485-6655

FAX 052-485-6656

E m a i l ainanren@true.ocn.ne.jp

郵便振替払込先口座は

口座番号 00880-9-36058

加入者名 愛知県難病団体連合会

特定非営利活動法人愛知県難病団体連合会

2025年冬期商品のご案内



えび
いか
にんじん
きくらげ
キャベツ

5種類の
乾燥具
材付き



本場・長崎からお届けいたします
コク深い味わいの‘ちゃんぽん’と、パリパリ揚げ
麺の‘皿うどん’です。

皆様に美味しい状態で味わって頂きたいので、
賞味期限を製造日より90日としております。
この本場の味を、皆様がお集りの時の食卓や手
土産にご利用ください。きっと喜ばれること間違
いなしです。(12月10日までの期間限定販売で
す)

① NS-5 御彩(いろいろ) ちゃんぽん

【乾燥具材付】ちゃんぽん5食入り
定価 4,320円
特別販売価格 2,800円

③



SR-1 島手らーめん
とんこつ・醤油各5食入り
定価 3,402円
特別販売価格 2,450円



② N-1 ちゃんぽん皿うどん
ちゃんぽん皿うどん各4食入り
定価 3,186円
特別販売価格 2,450円

④



VS-45 島原のれん
丸・平うどん 各90g×7束
定価 5,130円
特別販売価格 3,180円

⑤



LS-50 麺のしらべ
丸・平うどん 各90g×4束
そば 90g×6束
定価 5,670円
特別販売価格 3,300円

愛難連「ちゃんぽん・皿うどん詰合せ」「うどん」「らーめん」販売事業 注文書

※申込受付期間 12月6日(土)までです

「ちゃんぽん・皿うどん」は10月中旬からの発送となります(製造日より90日が賞味期限)

※愛難連まで(FAXまたはメールで)申し込んでください。

※注文書と入金(別紙払込取扱票にて)を確認して、発送します。

年 月 日

1. 患者会名

2. 注文主様氏名(患者様氏名)

3. 注文主様への連絡方法(TEL・FAX・メールアドレスなど)

4. 注文内容		段ボール1ケースの入れ数				↓
商品名	単価	個数	小計	送料	合計	
御彩(いろどり) ちゃんぽん	2,800	個				8個
ちゃんぽん皿うどん	2,450	個				6個
島手らーめん	2,450	個				8個
島原のれん	3,180	個				8個
麺のしらべ	3,300	個				8個
				総合計		
のし(短冊型)		不要 ・ 祝(無地) ・ 御歳暮				

5. 商品発送先

商品送り先 住所 〒	
商品送り先 氏名	商品送り先(携帯等昼間連絡先) TEL

※贈答用宅配の場合は宅配申込書(贈答用)をご利用ください。

愛難連絡先 TEL 052-485-6655

FAX 052-485-6656

E m a i l ainanren@true.ocn.ne.jp

郵便振替払込先口座

口座番号 00880-9-36058

宅配申込書

NPO法人愛知県難病団体連合会

申込年月日 年 月

TEL 052-485-6655 FAX 052-485-6656

患者会名 愛知県難病団体連合会
 〒453-0041
 所在地 名古屋市中村区本陣通5-6-1
 地域資源長屋なかむら101
 担当者 牛田正美
 電話番号 052-485-6655

(のし紙記入例)

(A) 御 歳 暮
 (B) 山 田

ご依頼主 住所・氏名・TEL
 様 〇
 〒

※お届け先のTEL・郵便番号は必ずご記入下さい。

数量	商品名	宅配料	のし(A)欄	のし(B)欄	のし不要	備考
1 〇 〒	御彩ちゃんぽん ちゃんぽん ・皿うどん 島手らーめん 島原のれん 麺のしらべ					
2 〇 〒	御彩ちゃんぽん ちゃんぽん ・皿うどん 島手らーめん 島原のれん 麺のしらべ					
3 〇 〒	御彩ちゃんぽん ちゃんぽん ・皿うどん 島手らーめん 島原のれん 麺のしらべ					

【宅配料金表】※段ボール1ケースの入れ数は御彩ちゃんぽん・島原のれん・麺のしらべ・島手らーめんは8個、ちゃんぽん皿うどんは6個です。 ※離島は別

長崎県内	600	九州管内	700	沖縄	1,400	中国・近畿・四国	800
東海・北陸	900	関東・信越	1,000	東北	1,000	北海道	1,400



専門性の高い 薬剤師が 活躍しています

- 外来がん治療認定薬剤師
- 外来がん治療専門薬剤師
- 緩和薬物療法認定薬剤師
- 老年薬学認定薬剤師
- NST専門療法士
- 腎臓病療養指導士



関東・中部・北陸・信州・関西に出店エリア拡大中!

グループ合計 **1,600** 店舗突破!



在籍薬剤師数 **3,688**人

(2023年2月末現在)

地域連携薬局 **31**店舗

専門医療機関連携薬局 **3**店舗

医療モール・医療機関併設 **116**医療機関

(2023年6月末現在)



スギ薬局

詳しくはHPをご覧ください。
<https://www.sugi-hd.co.jp/>

スギHD

検索



〒474-0011 愛知県大府市横根町新江62番地の1 TEL 0562-45-2700

「がん・難病」緩和ケア専門施設 GARO HOME 鶴舞

「私らしく、あなたらしく」生きていくご支援をいたします。



施設名：住宅型有料老人ホーム GARO HOME 鶴舞

施設住所：愛知県名古屋市昭和区鶴舞 2丁目 12-24

【お問い合わせ先】 GARO 株式会社（ガロ カブシキカイシャ）

〒467-0813 本 社：名古屋市瑞穂区西ノ割町 2丁目 32番地の1

【 GARO HOME でわかる 6 つのこと 】

1. 鶴舞駅近くでご家族もお越ししやすい環境
2. 全室 60 室個室（18㎡）トイレ、洗面所付
3. 訪問看護師 24 時間複数名常駐
4. 緩和ケアとリハビリからその人らしい生活を
5. 低料金で、料金をバリアフリー化
6. 助成制度のご案内・制度取得の積極的支援

【大切にしたいこと】

1. テクテク（動く、歩く等の動きを大切にします）
2. パクパク（しゃべったり、食べたりを大切にします）
3. ワクワク（楽しい気持ちを大切にします）
4. ニコニコ（痛みや苦しみをなく、心から笑顔を）
5. ドキドキ（ときめく気持ちを大切にします）
6. イキイキ（イキイキできるようご支援します）



GARO 株式会社

名古屋ロボケアセンター久屋店

可能性を信じてあきらめない
あなたの生活改善、社会復帰、サポートします

こんなことでお悩みの患者さん・利用者さんはいらっしゃいませんか？

歩きたい、立ちたい、座位を保持したい、
病後体力回復したい

脳性麻痺や神経難病などで身体をうまく
動かすことが難しい

身体機能の低下や、脊髄損傷、脳卒中
などの後遺症で悩んでいる

従来のリハビリで効果を感じなくなってし
まった



名古屋ロボケアセンター久屋店

〒460-0002

名古屋市中区丸の内3-4-2 4ウチビル5F

☎ 052-961-0700

✉ robocare@mail.nakakita.co.jp

🏠 <https://robocare-nagoya-hisaya.com/>



苦痛も負担も軽い方がいい。



要介護期を過ごすご本人の苦痛を緩和したい。
要介護期を支えるご家族の苦悩を解消したい。

その思いを実現させるため、パリアティブケアホームでは、24時間体制の訪問看護ステーションを併設し、多様な傷病や医療挿入物・医療処置に対応しています。各ホームで蓄積されたノウハウで、要介護期ケアに定評をいただいております。ご本人様らしい介護・看護の実現に努めています。



要介護期が幸せな場所

パリアティブケアホーム®

*全施設、土地・建物はオーナー様よりの賃貸物件です。



パリアティブケアホーム
ブランドサイトはコチラ

<https://palliative-care-home.com/>

パリアティブケアホームそらの春日井

〒486-0932
愛知県春日井市松河戸町3丁目8番地7
TEL：0568-37-3355
種別：サービス付き高齢者向け住宅

パリアティブケアホームつきの小牧

〒485-0041
愛知県小牧市小牧5丁目315番地
TEL：0568-54-3891
種別：住宅型有料老人ホーム

パリアティブケアホームはなの楠根

〒577-0006
大阪府東大阪市楠根3丁目2番41号
TEL：06-7711-8165
種別：サービス付き高齢者向け住宅

パリアティブケアホームゆきの彩都

〒567-0085
大阪府茨木市彩都あさぎ5丁目10番10号
TEL：072-640-5960
種別：サービス付き高齢者向け住宅

パリアティブケアホームほしの岸和田

〒596-0001
大阪府岸和田市磯上町1丁目3番29号
TEL：072-438-1565
種別：サービス付き高齢者向け住宅

運営

 opsol 株式会社

〒519-0503 三重県伊勢市小俣町元町623番1
TEL：0596-21-0007

<https://opsol.co.jp/>
opsolグループ 検索



プライベート訪問看護 を知っていますか？

プライベート訪問看護とは、

保険適用外の訪問介護・訪問看護を提供するサービスです。

保険適用の訪問介護・看護では、最大1回90分まで、1日3回訪問など多数の制限があります。

プライベート訪問介護・看護にはこのような制限がありませんので、

ご利用者様やご家族様の希望・叶えてあげたい事などのお手伝いを寄り添って行う事が出来ます。

1日だけの利用・曜日指定の定期利用・毎日利用などのご要望にもお応えできます。

夜間・長時間の見守り

旅行への付き添い

食事・排泄・入浴などの生活介助など

保険診療内では難しいサービスにも対応!!

介護者様にも自由な時間を。
ホームケアアライアンスの訪問看護は、
お客様の生活を快適にするための
パートナーです。

24時間365日対応 オンライン相談にも対応!

確かな経験と知識のあるスタッフが、症状・処置・介護の悩み相談など
「いつでも」「何でも」「何度でも」
あなたのお悩みに的確にお答えします。オンライン相談のみのご利用も可能です。



1時間利用 6500円(税込) 30分利用 3500円(税込)

オンライン相談のご利用 1ヶ月11000円(税込)

介護・看護のお悩み、1人で抱え込まずにご相談ください!

何でもお気軽にお問い合わせください。24時間365日受付中!

☎ 052-307-6185

mail: info@home-care-alliance.com



愛 難 連 の 難 病 相 談

電話連絡先 : 052-485-6655
FAX : 052-485-6656 (FAXは24時間)
相談日: 月曜日~金曜日 10:00~16:00

～ あなたの声を聞かせてください ～

愛難連では、難病患者さんやそのご家族の方々が、住み慣れた場所で安定した療養生活を送っていただけるように、保健・医療・福祉等の関係機関と連携を図りながら活動しています。
私達は、患者同士の「支え合い」「助け合い」を重視しており、そのきっかけをお手伝いすると共に、その輪を社会へと広げ、より良い社会生活を送れるように努めています。一人で悩まず、お気軽にお電話下さい。あなたの声が、同じ病気で苦しむ仲間の力になるかも知れません。

◀ 加盟団体一覧 ▶

全国筋無力症友の会 愛知支部

(TEL・FAX) 0569-22-5122 小林宅

一般社団法人 愛知県腎臓病協議会

(TEL) 052-228-8900 事務所

愛知県筋ジストロフィー協会

(TEL) 080-2613-9022 大島宅

日本二分脊椎症協会 東海支部

(Mail) happi-sbaj@memoad.jp

全国パーキンソン病友の会 愛知県支部

(TEL) 052-622-9585 深谷宅

愛知県肝友会

(TEL) 0568-82-7492 水上宅

愛知心臓病の会

(TEL) 090-5631-1678 牛田宅

愛知低肺機能グループ

(TEL・FAX) 052-872-3559 近藤宅

ベーチェット病友の会 愛知県支部

(TEL) 0564-74-1611 森田宅

つぼみの会愛知・岐阜 愛知支部(1型糖尿病)

(Mail) <https://www.aichi-gifu.iddm.jp/> 問合せ

日本 ALS 協会愛知県支部(筋萎縮性側索硬化症)

(TEL・FAX) 052-483-3050 事務所

愛知県網膜色素変性症協会(JRPS愛知)

(TEL) 090-7956-1070 新井宅

口唇口蓋裂を考える会(たんぽぽ会)

(TEL) 090-7048-1387 横田宅

東海脊髄小脳変性症友の会

(Mail) tokaiscd5224@gmail.com

もやの会(もやもや病の患者と家族の会)

(TEL) 052-895-4907 奥田宅

愛知県脊柱靭帯骨化症患者・家族友の会(あおぞら会)

(TEL) 0564-31-2848 林宅

日本マルファン協会(マルファン症候群)

(TEL) 050-5532-6503 大柄宅

プラダー・ウィリー症候群児・者親の会

「竹の子の会」西東海支部

(TEL・FAX) 0562-84-0750 杉本宅

(18 団体 会員総数 約 7,300 名)

発行人: NPO 法人 愛知県難病団体連合会

発行所: 名古屋市市中村区本陣通 5-6-1 地域資源長屋なかむら 101

電話 052-485-6655